

学校教育目標 「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」

校 訓 「自主・責任・規律・親和」 R 7. 6. 9 発行 文責 校長 本多 博

平戸市「少年の主張」大会で、松永くんが「保護司会特別賞」を受賞し、  
「社会を明るくする運動 中学・高校生長崎県弁論大会」平戸市代表に選ばれました。



6月8日に第20回平戸市「少年の主張」大会が行われ、南部中学校からは3年生の松永くんが、代表として発表しました。『ただいま修行中』の表題で、自らの思いを堂々と訴え、見事「保護司会特別賞」を受賞し、8月に開催される「社会を明るくする運動 中学・高校生長崎県弁論大会」に平戸市代表として選出されました。本当におめでとう、素晴らしい発表でした！ 県大会でも頑張れ！！



### 「ただいま修行中」

コントロール。辞書には、「制御・統制」「行き過ぎないように、操作・調節すること」とあります。僕は、ただいまコントロール修行中です。

自分自身のコントロール。小学生の頃からの僕の課題です。「なんか違う」周り比べて何かが違うことに気づき始めたのは小学3年生。笑うタイミングがずれる、小さなことが気になる、思ったことはすぐ言わないと気が済まない。そんなことが続くうちに、みんなと違うことに焦り、からかわれて怒り、いつまでも怒りが収まらない。制御不能になってしまうのです。怒ったあとは後悔するのですが、自分の非を認めることができず、うまく謝ることができません。それで、家族、先生、仲間、周りの方々に迷惑や心配をかけてきました。

何とかしようと思い始めたのは、中学1年生の頃。先生からの助言を受け、ゲームの時間を減らし、読書に時間をかけるようにしました。また、深呼吸して、数を数えるなど、心を落ち着かせる方法を自分で考えて実行するようになりました。自分を制御すること、怒りを持ち越さないことが、少しずつできるようになってきたと思ったのは、2年生になってから。感情をコントロールしながら、中総体選手激励会での応援活動など、前に立つことに挑戦したいという気持ちが生まれました。

一番の挑戦は、体育大会の赤群応援団長への立候補です。自分を変えようと始めたコントロール修行の成果を見せたい。応援団長として頑張りたいと思っていました。しかし、最初の話し合いから気持ちが空回りしてうまくいかず、相手に後れをとると、一人で焦る悪い癖がでてきました。制御不能になり、とうとう爆発したのは、体育大会の3日前。練習に集中できていないことに腹が立ち、怒りをぶつけてしまったのです。

その後、落ち着く場所で深呼吸して、自分の行いを見つめ直してみました。すると、周りの気持ちを考えず、突っ走っていた自分の姿が見えてきました。そして、次の日、勇気を振り絞って切り出しました。

「この前は、怒りをぶつけてすみませんでした。思うようにいかず、怒ってしまったことを反省しています。もう一度頑張りますので、どうか、僕にまたついてください。」

「はい。」

大きな返事が返ってきたあの日のことを、僕はきっと、ずっと、忘れません。感情を制御し、勇気を出して自分の非を認めたことで、周りの人と良い関係を築くことができた宝物のような出来事でした。

少年による重大な犯罪が後を絶ちません。「誰でもよかった」そうやって、お年寄りを手にかけた中学生がいます。なぜ、このようなことが起きてしまうのか。悲しい事件をなくするため、僕なりに考えた解決策。それは、一人一人が自分と向き合い、感情をコントロールすることです。自分を制御することができれば、周りの気持ちを考えきれずに起こる事故や事件は少なくなると思います。ですから僕は、少年だけでなく、大人の皆さんにも自分をコントロールすることについて考え、自分なりの方法を探し、実行してほしいと強く望みます。

そういう僕も、自分をコントロールできないと、多くの人に迷惑をかけ続けていくことでしょう。そうならないように、修行の一環として、これからも勇気を出して、人前に出ることに挑戦していきます。

自分で自分を諦めず、コントロールできるまで、自分と向き合う。僕に、それを教えてくれた多くの方々や、宝物のような出来事に感謝して、コントロール修行を続けます。